

# PM<sub>2.5</sub> 成分濃度の測定・分析 及び データ解析 サービスのご案内

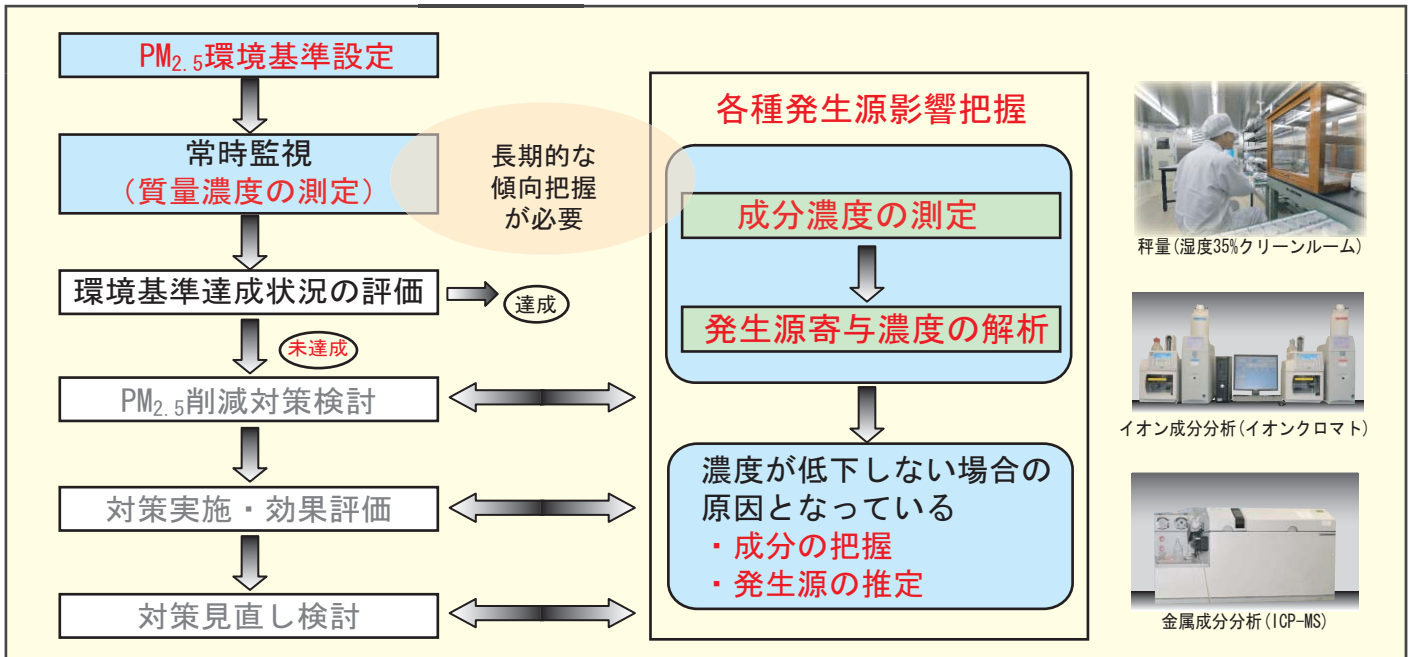
PM<sub>2.5</sub>の発生源影響を把握するために、豊富な経験と最新技術による測定・分析・解析サービスをご提供いたします。

## 成分濃度の測定・分析 発生源寄与濃度等の解析

さまざまなニーズに対応した測定・分析・解析をご提案いたします。

＜想定される測定・分析・解析の目的＞

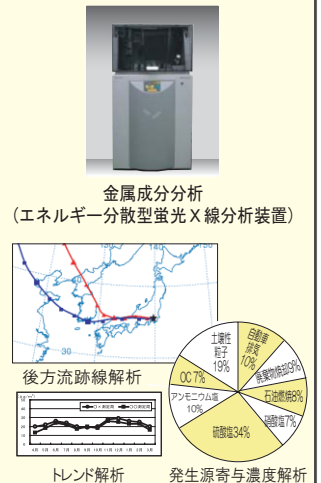
- 成分濃度を測定したことがないので現状を把握してみたい。
- 環境基準未達成の原因となり得る成分や発生源を把握したい。
- PM<sub>2.5</sub>削減対策検討のための資料としたい。
- PM<sub>2.5</sub>削減対策の効果を確認したい。



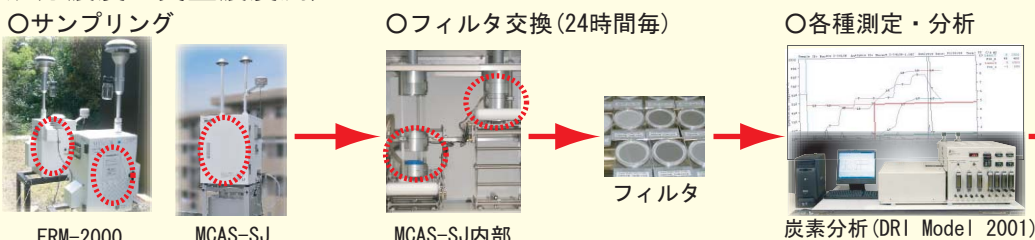
- **成分濃度測定** 「大気中微小粒子状物質(PM<sub>2.5</sub>)測定方法暫定マニュアル改定版」に準拠
  - サンプリング：FRM-2000、MCAS-SJ (SPMと同時測定、弊社製)、アンターセンサンプラ(粒径別)等
  - 炭素分析：サーマルオプティカル・リフレクタンス法
  - イオン分析：イオンクロマトグラフ法
  - 金属類分析：ICP-MS法、エネルギー分散型蛍光X線分析法、中性子放射化分析法から選択。

- **質量濃度測定** 環境基準に基づく「標準測定法」に準拠
  - サンプリング：FRM-2000、MCAS-SJ (SPMと同時測定、弊社製)、アンターセンサンプラ(粒径別)等
  - 秤量：相対湿度35±5%・気温21.5±1.5℃のクリーンルーム、感量1μgの電子天秤を使用。

- **データ解析**
  - 発生源寄与濃度解析 (CMB法、PMF法)
  - その他の解析 (後方流跡線解析、トレンド解析等)



## 成分濃度・質量濃度測定フロー



ムラタ計測器サービス株式会社

http://www.murata-s.co.jp  
E-mail: info@murata-s.co.jp

本社 〒245-0052 横浜市戸塚区秋葉町15番 電話：045-812-1811 FAX：045-813-2811  
東京支店 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-5 電話：03-3512-0192 FAX：03-3512-0193